

分野：認知症

1 本市の現状と課題

本市の高齢者等実態調査（以下「実態調査」という。）によると、在宅での介護を断念して施設等へ入所する理由として最も多いのが「認知症等による問題行動が多くなったとき」と回答していることから、住み慣れた家で暮らし続けるためには、認知症に対する早期対応や進行を遅らせる取組が重要となります。

また、実態調査によると介護関係者の多くは、認知症の人が安心して暮らすためには「見守りや生活支援など住民による助け合い活動を広げる」ことが必要と回答し、市民の多くは、「認知症の人や家族、医療、福祉関係機関が連携するための仕組みをつくる」ことが必要と回答していることから、住民や医療、福祉関係者等の幅広い対象者に向けた事業を新たに展開していきます。

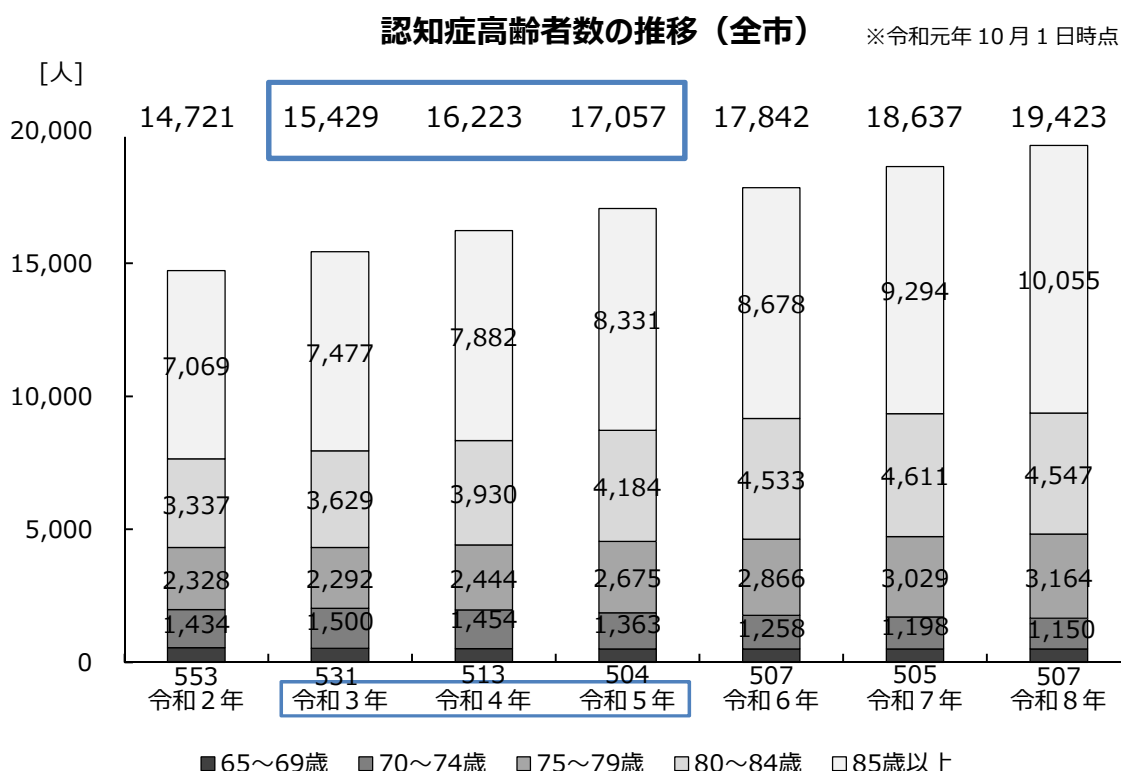
2 認知症高齢者の将来推計

(1) 認知症推計の方針

- ・第 8 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の人口推計・認定者推計と共に掲載する予定
- ・人口推計で算出された人口を対象に、厚生労働省の示す認知症有病率を用いることで推計を行う。
- ・将来の推計人口は各年度の性別・年齢階級別推計人口を使用した。
- ・認知症有病率は「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授）で示されるデータのうち、糖尿病有病率が増加するとの仮定に基づいて算出された有病率を採用した（軽度認知障害含まず。）。

(2) 推計結果

- ・太枠内が第 8 期計画期間であり、認知症高齢者数は最終年の令和 5 年に 17,057 人、令和 8 年には 19,423 人となり、令和 2 年推計値よりそれぞれ 2,336 人、4,702 人増加する見込みである。年齢別でみると、85 歳以上が約 5 割を占めている。



3 主な重点事業

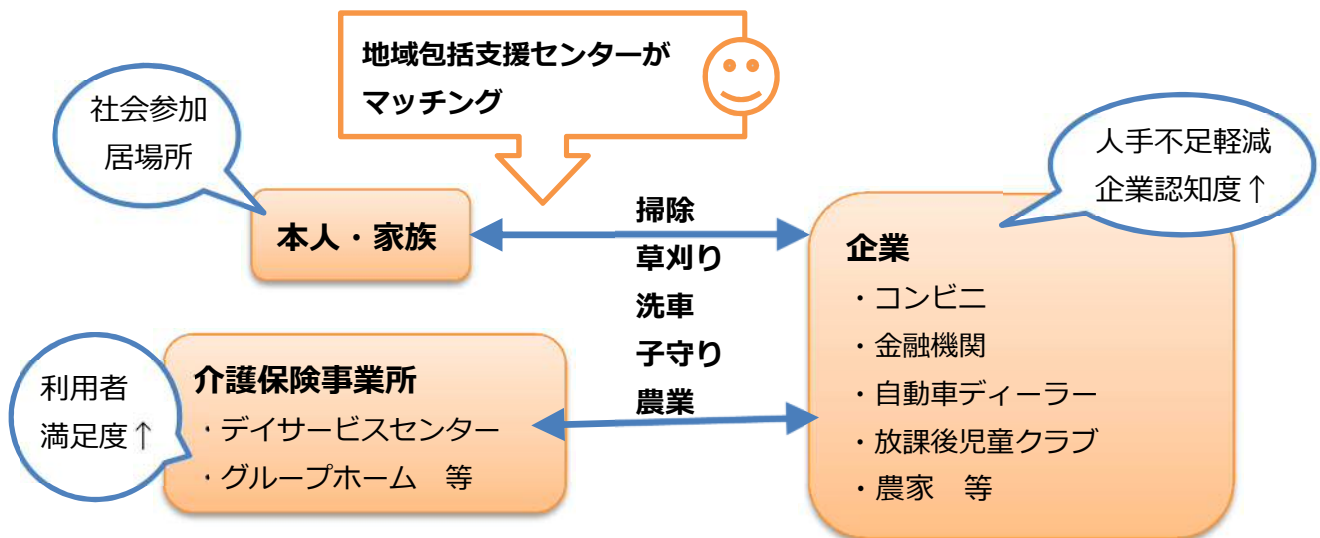
(1) 認知症サポーターを中心とした支援チームづくり

- ・認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みを構築するため、意欲のある団体に支援チームの役割を担ってもらう。(団体は既存の団体を想定)
- ・支援者と要支援者を繋ぐマッチングアプリの活用などにより持続可能な形での支援チームの仕組み構築を検討する。



(2) 認知症の人の社会参加の仕組みづくり

- ・認知症になっても支えられる側だけでなく、支える側として役割と生きがいを持って生活できる環境づくりのため、認知症の人の特性と希望に合わせた活動の場を検討し、実際に活躍できる場のマッチングを行う。
- ・企業、介護・障がいサービス事業所等と連携することにより、上記社会参加が取り組みやすくなるような仕組みを構築する。



4 既存の認知症施策の一覧

(1) 普及啓発・本人発信支援

事業名	概要
認知症サポーター養成講座	令和元年度養成人数3,797人、ステップアップ講座も実施
普及啓発イベント	アルツハイマー月間(9月)に図書館や豊田市駅周辺での啓発
各種リーフレット配付	チラシやケアパス冊子を医療機関、関係機関で配布
ピアサポート事業	認知症当事者が認知症サポーター養成講座で講義

(2) 認知症予防

事業名	概要
集いの場	元気アップ、ふれあいサロン、高齢者クラブ等
認知症の早期発見	免許更新、保険者証送付時など機会をとらえた啓発

(3) 認知症本人・介護者への支援

事業名	概要
認知症地域支援推進員	市内5ブロックで認知症施策について検討
認知症初期集中支援事業	医療介護につながらない困難ケースにチームで対応
認知症カフェ	地域で認知症について理解し合い、情報を共有する
認知症介護家族会	介護をする家族向けに相互交流と学習の機会の提供
若年性認知症本人・家族会	地域包括支援センターと共催で精神的なケアを行う
警察との再発防止の取組	警察で保護された高齢者情報を包括へ提供

(4) バリアフリーの促進と社会参加

事業名	概要
徘徊対策関連事業	見守りほっとライン、徘徊高齢者登録、見守り安心マーク、かえるメール、GPS機器助成、徘徊模擬訓練
認知症高齢者等個人賠償責任保険	市が認知症高齢者の賠償保険に加入して事故に備える
成年後見支援センター	社協に相談センターを設置し、意思決定困難者に対応
認知症の人の社会参加	地域包括支援センターが中心となり、認知症当事者が活躍できる取組の検討

5 ポストコロナを踏まえた視点

認知症サポーター養成講座などの集合研修をインターネット配信により受講できるようにするとともに、短時間の認知症ミニ講座の動画を作成し、企業や若年層に向けて認知症の理解促進に資する取組を検討します。また、各種関係者との会議をインターネット上で行うなど、感染拡大防止と業務効率化を図っていきます。